

令和8年度当初予算

支出科目	款：教育費 項：教育総務費 目：教育指導費
担当課	義務教育指導課、高校教育指導課
事業名	キャリア教育推進事業（一部国庫）【一部新規】

目 的

児童生徒が学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、「働くこと」に対する意義を理解し「働くこと」に対する基礎的な知識・理解を得られるよう、地元企業等と連携しながら、小学校から高等学校にかけて組織的・系統的なキャリア教育に取り組む。

事業説明

対象者

児童生徒、教員

事業内容

		(単位：千円)
内 容		要求額
キャリア教育の推進【一部新規】	○キャリア教育の推進に向けたWebサイト「ミツカル！ひろしまカンパニー」の運営 ・職場体験活動や講師派遣等の産業界と連携した教育活動の充実のため学校の取組に協力可能な地元企業のデータベース管理及び活用促進 ・各学校におけるキャリア教育の取組（好事例）の発信 ○地域に愛着をもち、地域で活躍する人材を育成するキャリア教育推進事業【新規】 ・コミュニティ・スクールの仕組みを活用した取組などを、教科横断的な「キャリア教育プログラム」として開発・普及	4,023
産業界のニーズや将来的な社会変化に対応した職業教育の充実	○産業界で必要な資質・能力の育成を図るためのカリキュラムの実施 ○教員の資質能力向上を図るための先端技術を有する企業や大学、研究所等の専門家を招聘した研修会の開催等 ○教育資源の活用を図るための学校と産業界をつなぐコーディネーターの配置	35,402
合 計		39,425

成果目標

- ビジョンの施策領域：教育
- 取組の方向：キャリア教育・職業教育の推進
- 事業目標：キャリア教育において、外部人材の活用など地域や産業界等と計画的に連携・協力した取組を行っている学校の割合
(R6実績) 小52.1% 中50.4% (R8目標) 小55% 中55%
専門学科の生徒のうち、将来、身近な地域に貢献したいと強く思う生徒の割合
(R6実績) 18.2% (R8目標) 22%

事業費 (単位：千円)

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
要 求 額	39,425	2,041	0	0	0	0	0	0	37,384
前 年 度 当 初 予 算 額	37,378	2,500	0	0	0	0	0	0	34,878

※国庫支出金のうち、地域未来交付金（1,000千円）

支出科目	款：教育費	項：社会教育費	目：文化施設費
担当課	文化財課		
事業名	歴史文化資源を活用した地域の魅力向上事業（単県）【新規】		

令和8年度当初予算		
支出科目	款：教育費	項：教育総務費 目：教育指導費
担当課	乳幼児教育支援センター、生涯学習課	
事業名	「遊び 学び 育つひろしまっ子！」推進プロジェクト（一部国庫）	

目 的

全県的な乳幼児期の教育・保育の質の向上に向け、家庭教育への支援や教育・保育施設への支援の在り方などについて「遊び 学び 育つひろしまっ子！」推進プランに基づいた取組を実施し、乳幼児期における教育・保育の充実を図る。

事業説明

対象者

乳幼児、保護者、教員・保育士等

事業内容

		(単位：千円)
内 容		要求額
教育・保育内容の充実等	○園所等の教育・保育の質の向上のための研修の実施 ○幼児教育アドバイザー訪問事業の実施 ○ソーシャルワークの視点をもった人材育成の支援 ○園所等に対する絵本の貸出支援	51,882
幼保小連携・接続の推進	○幼保小連携・接続に係る研修の実施 ○長期派遣研修の実施 ○市町における幼保小連携・接続に係る取組の支援	4,008
家庭教育支援の充実	○「遊びは学び」をはじめとした親に伝えたい内容の共感的理解の促進 ○親の育ちを応援する学びの機会の充実 ○地域における家庭教育支援の推進	7,844
乳幼児教育支援センターの体制整備	○専門職員の育成・確保 ○各種会議等による教育・保育の質の向上のための施策検討	29,837
合 計		93,571

成果目標

- ビジョンの施策領域：教育
- 取組の方向：乳幼児教育・保育の充実
- 事業目標：園・所内研修を充実させるための研修に参加し、県が計画する公開保育を実施する園・所数（R7実績）11園・所 （R8目標）15園・所

事業費（単位：千円）									
	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
要 求 額	93,571	4,744	0	0	0	0	1,372	0	87,455
前 年 度 当 初 予 算 額	98,173	4,663	0	0	0	0	1,575	0	91,935

令和8年度当初予算

支出科目	款：教育費 項：教育総務費、高等学校費、特別支援学校費 目：教育指導費、高等学校管理費、特別支援学校費
担当課	学校経営課、教育改革課、義務教育指導課、高校教育指導課、個別最適な学び担当、特別支援教育課
事業名	「学びの变革」推進事業（一部国庫）【一部新規】

目 的

多様な学習機会と場の提供等を通じた「個別最適な学び」を推進するとともに、デジタル技術の急速な進展を踏まえ、あらゆる教育活動において、日常的にデジタル機器等を活用する環境を整え、情報モラルを含めた子供たちのデジタルリテラシーの向上を図るほか、デジタル技術の効果的な活用等を通じた、主体的な学びを促す教育活動の充実や、グローバルマインドの涵養を図る教育環境の整備などにより、「学びの变革」の更なる加速に取り組む。

事業説明

対象者

児童生徒、教員

事業内容

		(単位：千円)
内 容	要求額	
「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善	○カリキュラムの質的向上 ・学校が設定する生徒の資質・能力の育成に向け、総合的な探究の時間等を核とした、質の高い探究的な学びの充実を図るカリキュラムの開発 ・各教科において教科指導力を有する教員の育成を図り、各教科における探究的な学びを推進していくため教科デザイン力養成研修を実施	32,471
	○「学習指導」と「生徒指導」の一体的な推進 ・アセスメントツールを基に、生徒の学習のつまづきや学習集団の状況等を把握し、学習指導と生徒指導の両面から支援するプロジェクトの実施 ・県内指定校等の取組を普及させるオンライン実践交流会等を実施	8,550
	○主体的な学びの定着に向けた研修内容の再構築 ・「主体的な学び」を促す授業を実践するため、国や大学等の研究機関の知見を生かし、最新の教育内容や研修方法等を取り入れ、再構築した研修を実施	1,944
デジタル技術の効果的な活用等を通じた探究的な学びの充実	○GIGAスクール構想の推進による県内全公立学校の端末及び校内通信ネットワークの整備 ・公立小中学校等における一人1台端末の更新整備等、デジタルを基盤とする環境整備を進めるとともに、学校への支援や研修等を通じ、児童生徒の豊かな学びのための一人1台端末の効果的な活用の普及【教育振興基金充当】	5,717,547
	○中山間地域の学校における遠隔教育の推進 ・遠隔教育システムを活用することにより、中山間地域等に位置する県立高等学校において、探究的な学びの実現等につながる教育活動を展開	27,368
グローバルマインドの涵養を図る教育環境の整備【一部新規】	○異文化間協働活動の推進 ・姉妹校等交流先のマッチングや交流経費の支援などによる、姉妹校等との交流推進【一部新規】 ・県立高校生等に対する留学経費支援や留学関連イベント等の実施等による留学機運の醸成 等	68,033
魅力ある高校づくり	○1学年1学級規模校等の活性化に向けた取組に対する支援 ・学校活性化に向けた取組に係る経費の支援 ・活性化策をより効果的な取組に改善するための分析ツールの活用 ・各学校及び県教育委員会への伴走支援等を行う学校魅力化アドバイザーの配置 等	54,780
合 計		5,910,693

成果目標

- ビジョンの施策領域：教育
- 取組の方向：学びの変革の推進
- 事業目標：個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実について「よく当てはまる」と回答した学校の割合
 （R6実績）小35.8% 中29.1% （R8目標）小42.0% 中32.0%
 校内で授業を公開し、研修している学校の割合（研修受講者の在籍する学校）
 （R6実績）－ （R8目標）高100%

事業費

（単位：千円）

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
要 求 額	5,910,693	3,895,783	0	0	0	1,698,636	2,089	0	314,185
前 年 度 当 初 予 算 額	2,389,374	0	0	0	0	2,078,914	1,459	0	309,001

令和8年度当初予算

支出科目	款：教育費 項：教育総務費、中学校費、高等学校費 目：教育指導費、教職員費、高等学校総務費
担当課	款：高等学校等奨学金 項：高等学校等奨学金 目：高等学校等奨学金
事業名	教育支援推進課、個別最適な学び担当、豊かな心と身体育成課
事業名	誰もが安心して学習できる環境づくり推進事業（一部国庫）

目 的

日常的な活動を通じた、児童生徒の成長と発達を支える生徒指導の充実に加え、不登校により学びにアクセスできない児童生徒ゼロを目指すとともに、家庭の経済的事情等にかかわらず、全ての子供の能力と可能性を最大限高めることができる教育を実現する。

事業説明

対象者

児童生徒、保護者等

事業内容

		(単位：千円)
内 容		要求額
生徒指導体制の充実	○スクールソーシャルワーカー（SSW）の配置 ・中学校区：55校区（R7比+4校区） ・高等学校拠点校：5校（R7比+1校） ・配置総時間数：35,300時間（R7比+3,150時間）	181,187
多様な学びの場、居場所の確保	○学校・社会とのつながりが途切れないための居場所づくり ・不登校スペシャルサポートルーム（SSR）推進校への支援及び県教育支援センター（SCHOOL“S”）の運営 ・公立小・中学校におけるSSR支援員の配置に係る経費の補助 ○児童生徒の興味・関心、特性等に応じた学習支援 ・不登校等児童生徒を対象としたオンライン学びプログラム ・オンラインクラブ活動を実施 ・教職員、保護者等を対象とした探究セミナーを実施	30,793
教育費負担の軽減 〔高等学校等奨学金特別会計〕	○一人1台端末の購入に係る給付制度 経済的に困難な家庭（非課税世帯）の生徒に対して、一人1台端末の購入費用等の支援に係る給付を実施	153,600
合 計		365,580

成果目標

- ビジョンの施策領域：教育
- 取組の方向：学びのセーフティネットの構築
- 事業目標：FDPアセスメント判定指標の改善割合（不登校SSR推進校、SCHOOL“S”利用者）
（R6実績）69.6% （R8目標）70.0%

事業費（単位：千円）

		事業費	財 源						
			国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰越金	諸収入	県債
要求額	一般会計	211,980	61,277	0	0	0	0	7,503	0
	特別会計	153,600	0	0	0	0	153,600	0	0
前年度当初予算額	一般会計	179,905	51,802	0	0	0	0	6,766	0
	特別会計	153,600	0	0	0	0	153,600	0	0

令和8年度当初予算

支出科目	款：教育費	項：教育総務費	目：教育指導費
担当課	特別支援教育課、施設課		
事業名	特別支援教育ビジョン推進事業（一部国庫）【一部新規】		

目 的

特別支援教育の充実を図るため、特別支援教育ビジョンに基づく施策を実施する。

事業説明

対象者

特別支援学校等の幼児・児童・生徒及び教員

事業内容

		(単位：千円)
内 容		要求額
特別支援教育体制整備	○ 教育相談主任及び特別支援教育コーディネーターによる幼稚園、保育所、小・中・高等学校等に対する支援等を実施	1,408
教員の専門性向上【一部新規】	○ 免許法認定講習の実施 ○ 聴覚障害部門を設置する県立特別支援学校の教職員を対象とした手話講座を実施【新規】	2,195
就職支援プロジェクト	○ 技能検定の企画・実施 ○ 実施分野：5分野(清掃、接客、パソコン、流通・物流、食品加工) ○ 就職サポート隊（支援・協力企業）の募集 ○ 就職支援教員（ジョブサポートティーチャー）の配置（16校[市立特支を除く]） ○ 特別支援学校における就労を見据えた農福連携の取組に係る調査研究を実施	6,673
医療的ケア実施体制の整備	○ 看護師研修、医療的ケア研修会の実施 ○ 校外教育活動への看護師等同行、指導医による指導等 ○ 医療的ケアを理由にスクールバスが利用できない医療的ケア児への通学支援を実施	184,996
教育環境の充実・整備	○ 県立特別支援学校の教室不足の解消に向けた教育環境の整備・広島北特別支援学校の校舎改修工事等を実施	86,441
特別支援教育指導委員会	○ 広島県特別支援教育指導委員会の開催	383
合 計		282,096

成果目標

- ビジョンの施策領域：教育
- 取組の方向：特別支援教育の充実
- 事業目標：個別の教育支援計画作成率
(R6実績) 幼・小・中・高の全校種100% (R8目標) 幼・小・中・高の全校種100%

事業費

(単位：千円)

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
要 求 額	282,096	63,750	0	0	0	0	280	21,600	196,466
前 年 度	(債務761,950	181,021						462,800	118,129)
当 初 予 算 額	264,258	47,042	0	0	0	0	315	94,400	122,501

令和8年度当初予算

支出科目	款：教育費	項：教育総務費	目：教育指導費
	款：教育費	項：高等学校費	目：高等学校管理費
	款：教育費	項：特別支援学校費	目：特別支援学校費
担当課	施設課、学校経営課		
事業名	県立学校施設設備整備事業（一部国庫）		

目 的

児童・生徒等の学習や生活の場であり、非常災害時には地域住民の避難所等としての役割も果たす学校施設の老朽化対策（長寿命化改修等）や、防災機能の強化、「学びの革新」を推進する施設設備の整備などを進めるとともに、情報教育推進のための設備整備を進めることにより、安全・安心で質の高い教育環境の整備を計画的かつ着実に進める。

事業説明

対象者

県立の中学校、高等学校及び特別支援学校の児童・生徒等

事業内容

		(単位：千円)
内 容		要求額
学校改修	<ul style="list-style-type: none"> ○ 校舎等整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 内外部改修工事 ～ 12校 等 ○ 屋外運動場整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ グラウンド改修工事 ○ 防球ネット等整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 防球ネット等改修工事 等 	(債務2,462,534) 2,679,472
維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ○ 屋上防水工事 ～ 10校程度 ○ 建物法定点検 ～ 29校 ○ 維持修繕（土砂災害対応安全対策を含む。） 設備整備、維持管理 等【教育振興基金充当】 ○ 県立特別支援学校体育館空調設備整備 ○ 空調設備の維持管理費用等 	(債務317,967) 1,754,755
温室効果ガス削減対策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 校舎等照明LED化改修工事 等 	(債務202,900) 916,663
情報化教育推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 情報教室の生徒用PC等整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒用PC賃貸借 ○ Heiwaネットの運営 <ul style="list-style-type: none"> ・ ネットワーク拠点機器、回線、維持経費 等 ○ 校内通信ネットワークの運営 <ul style="list-style-type: none"> ・ 校内通信ネットワーク環境の維持管理、回線経費 等 	588,066
合 計		(債務2,983,401) 5,938,956

成果目標

○ 事業目標：安全・安心で質の高い教育環境の確保

事業費

(単位：千円)

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
要 求 額	(債務2,983,401) 5,938,956	14,803 18,469	0	0	22,100	5,084	1,150	2,542,800 3,731,500	425,798 2,160,653
前 年 度 当 初 予 算 額	(債務2,398,900) 6,412,150	16,319	0	0	25,000	500	3,604	2,072,700 4,592,000	326,200 1,774,727

※国庫支出金のうち、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金（431千円）